



## 審査経過

中山委員長が開会を宣言し、会議成立宣言の後、会議録署名者に宮崎委員、久保委員を指名した。その後、直ちに議事に入り、継続調査案件となっている「伊勢市病院事業に関する事項」外2件を議題とし、当局から報告、報告への質疑を行い、今後についても継続して調査をすることを決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前9時59分

### ◎中山裕司委員長

それでは、ただいまから教育民生委員会を開会をいたします。

本日の出席者は8名でありますので、会議は成立をいたしております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において、宮崎委員、久保委員の御兩名を指名いたします。

本日御協議願います案件は、お手元に配付の案件一覧表のとおりであります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任いただきたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎中山裕司委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

## **【伊勢市病院事業に関する事項】**

### **【新市立伊勢総合病院の建設について】**

### ◎中山裕司委員長

それでは、「伊勢市病院事業に関する事項」につきましても御審査を願います。

「新市立伊勢総合病院の建設について」、当局からの説明をお願いいたします。

病院総務課長。

### ●奥田病院総務課長

それでは、新市立伊勢総合病院の建設につきまして、御説明申し上げます。

資料の1をごらんください。

初めに、「1. 新病院建設事業収支計画の見直しについて」でございますが、収支計画表の左から2列目が、以前、本委員会にお示ししました平成28年8月時点の収支計画でございます。表の上段は事業費としまして、用地取得費から諸準備費まで合計が189億1,985万7,000円となっております。

次に、下段の財源につきましても、病院事業債から一般財源まで、事業費と同額の約189億円となっております。

これまで建設事業費の総事業費につきましては、約189億円と御説明してまいりましたが、今年3月の委員会におきまして、エネルギーサービス（E S）事業を含む総事業費は

幾らになるのかといった御意見がございました。そこで、今回新たに財源の下段にE S事業を追加し、エネルギー供給施設整備費とそれに伴う財源を当時の計画額9億2,000万円と示し、さらに最終行にE S事業を含めました総事業費を約198億円とお示しするものでございます。

次に、平成30年6月の見直し後の収支計画につきまして、御説明いたします。

今回、これまでの契約による確定額と今後の必要額を精査した結果、見直しを行ったものでございます。

表上段の事業費のうち、平成28年8月の計画から変更となった項目といたしましては、上から2行目の地質調査・測量・造成基本設計費等が執行額の確定により500万円を減額、次に、建設設計・監理費につきましては、監理料など変更によりまして1,188万円の増額、次に、今後の駐車場整備費などを含みます造成工事費につきましては、造成する際の施工方法の変更によりまして、1億3,438万円の減額となっております。次に、建設工事費でございますが、医療機器の仕様などに対応するため、建築設備等の変更が生じたことから、1億800万円が増額となり、123億800万円となっております。

これらの結果、見直し後計画の事業費の増減額は、合計で1,950万円の減額となり、事業費の合計額は189億35万7,000円となっております。

続きまして、下段の財源でございますが、事業費が約2,000万円減額したことに伴いまして、病院事業債、一般会計からの出資金など、同額を減額しております。

次に、下段のE S事業につきましては、現在8億9,000万円で整備を進めており、E S事業を含む見直し後の収支計画の総合計は197億9,035万7,000円となり、以前の計画額から4,950万円が減額となっております。

これに伴いまして、6月の定例会に今年度の補正予算案としまして、508万7,000円の減額補正案を提出する予定としております。

次に、2ページをごらんください。

「2. 新病院建設スケジュール」について、御説明申し上げます。

2ページのスケジュールと3ページの図面をあわせてごらんください。

スケジュール表上段の新病院建設工事でございますが、現在、工事は順調に進んでおり、建物本体は本年9月末に完成後、3カ月間の移転準備期間を経て、平成31年1月に開院予定となっております。

また、現在、旧第1病棟内にある院内保育所は、現健診センター前に新保育所を建設中でございますが、本年8月中旬ごろに完成後、9月の開所を予定しております。

次に、スケジュール中段の現病院解体工事でございますが、新病院の開院後は優先的に外来駐車場の確保が必要となることから、保育所の移転後、10月から旧第1病棟の解体を始め、本年12月末までに現駐車場と解体跡地の仮設駐車場を含めた240台と、健診センター側の外来駐車場80台を合わせた320台を新病院の開院時の駐車区画として確保したいと考えております。

3ページの図面のほうをごらんください。

青塗りの部分は、現在のロータリーと外来駐車場でございますが、外来患者様の利便性を考慮して、このエリアは工事の最終段階まで確保したいと考えております。

次に、赤色の破線矢印は新病院開院後の来院者の進入経路で、現行と同様に外来駐車場

に駐車後は、現病院正面のひさしの下を歩いていただきまして、新病院の正面玄関にアプローチするように考えております。

次に、解体工事の手順とスケジュールを図面のほうで御説明いたします。

まず、赤色の囲み部分の旧第1病棟と車庫棟は、先ほど御説明いたしました年内に解体工事と仮設駐車場の整備工事を完了する予定となっております。

次に、緑色の本館C棟、D棟とエネルギー棟の解体工事につきましては、開院後の平成31年1月から5月までを予定しております。このエリアの解体工事が進みますと、解体用の重機が入れるスペースを確保することで、水色の本館A棟に接続するリニアック棟側から解体工事を開始しまして、本館A棟、B棟の解体を1月から9月までを予定しております。

2ページにお戻りください。

スケジュール表下段の駐車場整備工事につきましては、解体工事を終えたエリアから順次整備を進めてまいります。

初めに御説明いたしました、最終段階まで残ります新病院の車寄せ上屋建設工事とロータリーの整備工事は、平成31年10月から平成32年3月までを予定し、全ての工事完了が平成32年3月を予定しております。

以上が、現病院の解体工事と駐車場整備のスケジュール案でございます。

なお、資料には記載してございませんが、新病院の竣工式典と内覧会の日程につきましては、現在、本年11月10日の土曜日と11日の日曜日の2日間の予定で調整しております。今後、詳細が決まり次第、改めて御報告させていただきたいと考えております。

以上、「新市立伊勢総合病院の建設について」御説明いたしました。よろしく御協議賜りますよう、お願い申し上げます。

◎中山裕司委員長

はいどうも。

ただいまの説明に対しまして、御発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、説明に対しまして質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。御発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、自由討議を終わります。

以上で、「新市立伊勢総合病院の建設について」を終わります。

「伊勢市病院事業に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御異議なしと認めます。

本件につきましては、引き続き調査を継続いたしてまいります。

**【伊勢市立小中学校の規模・配置の適正化に関する事項】**  
**【小中学校適正規模化・適正配置推進事業（進捗状況）について】**

◎中山裕司委員長

次に、「伊勢市立小中学校の規模・配置の適正化に関する事項」についての御審査を願います。

「小中学校適正規模化・適正配置推進事業（進捗状況）について」、当局からの説明を求めます。

学校統合推進室長。

●丸山学校統合推進室長

失礼いたします。

それでは、伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置推進事業につきまして、御報告をさせていただきます。

まず、資料2の1ページをごらんください。

本年度になってからは説明会や統合準備会を開催しておりませんので、昨年度の説明会等の一覧表になっております。昨年度は、平成29年3月に策定した基本計画の修正版において、内容が変更となった地域を中心に説明を行いました。

2ページには説明会等の一覧表が、3ページは統合準備会等の一覧表でございます。

次に、本日は基本計画に係る検討課題について、2点御協議をお願いいたします。

まず、1点目に、早修、中島、佐八小学校の統合場所につきまして、資料の4ページをごらんください。

平成29年3月に修正した基本計画では、早修、中島、佐八小学校については、適正規模化を図るために3校を統合する。統合場所については検討を続けるとなっております。その統合場所についてですが、平成23年度策定の基本計画（案）では、中島小学校としておりました。その大きな理由は、統合した場合の児童数に既存の施設が対応できるかどうかという点と、宮川洪水ハザードマップにおいて、中島小学校に洪水の想定がされていなかったということでした。ところが、それ以降、児童数も当初より随分少なくなってきておりますし、平成28年12月に宮川洪水ハザードマップが改められたことにより、中島小学校に浸水の想定がされたりしてまいりました。そこで、平成29年3月に見直しをした現在の基本計画においては、統合場所については検討を継続とさせていただいたところでございます。その後、統合場所について関係部署とともに検討をしてきました結果、早修小学校が最も望ましいという結論に至りました。これは4ページの表のとおり、既存の3校を災害想定、現有施設や通学面から比較した結果により判断したものです。その大きな要因としましては、6ページの児童数の推移の表をごらんいただきます。

3校の児童数を合わせても、平成32年度、2020年度以降には12学級になり、12学級であれば校舎等が比較的新しい早修小学校でも大きな改修をせずに入れるようになってくること。さらに、資料5ページに戻りましてすみません。5ページのとおり、宮川洪水ハザードマップにおいて、中島小学校に浸水の想定がされたこと等から判断したものです。

なお、統合時期につきましては、これから市の考えを保護者や地元に対し丁寧に説明し、十分な合意形成が図られた段階で、他の統合校建設と調整の上で決定していきたいと考えております。

次に、2点目の二見浦小学校と二見中学校の高台移転につきまして、資料の7ページをごらんください。

平成29年3月に修正した基本計画では、小中両校とも沿岸部に位置するため、地震、津波等の防災面や小中学校の連携を考慮した上で、同時期に高台に移転し、児童生徒の安全・安心の確保及び地域の防災拠点としての整備を図っております。

それでは、資料の8ページをごらんください。

移転候補地として対象となる高台を関係部署とともに検討してきました結果、光の街の二見町溝口側の入り口付近、資料において建設予定地と示した場所にしたいと考えております。

次に、移転時期につきましては、平成35年、2023年度の4月にしたいと考えております。これは、平成29年4月に二見小学校と今一色小学校が統合して二見浦小学校が開校しましたが、統合に伴う校舎建設に対する文科省の補助金が、統合後6年までであれば受けられることから設定したものです。

9ページをごらんください。

9ページは、二見浦小、二見中の今後の児童生徒数の推移で、移転開校予定の平成35年度、2023年度には小中ともに各学年2クラスになる見込みでございます。

続きまして、今後のスケジュールでございますが、資料の10ページをごらんください。

下から2段目ですが、今年度に用地取得と設計に着手し、平成31、32年度に造成工事、その後、平成33、34年度に建設工事を行って、平成35年、2023年4月に移転開校したいと考えております。

なお、今年度は用地取得及び設計の予算を計上しておりませんので、今後9月議会において必要な経費の要求をしたいと考えております。

次に、11ページをごらんください。

ここからは、現在進めております統合校の建設に関する進捗状況でございます。

豊浜中学校、北浜中学校の統合でございますが、現在の工事状況の写真を付けさせていただきました。来年、平成31年4月開校に向けて、工事を進めているところでございます。

次に、12ページをごらんください。

神社小、大湊小学校の統合につきまして、昨年度に学校敷地を縦断しておりました市道の付け替え工事を行いました。今年度は造成工事を予定しており、6月定例会でその契約議案の提出を予定しております。

また、統合校の校名候補を、15ページにございます統合準備会だよりに掲載しておりますが、教育委員会において第1候補にある平仮名の「みなと小学校」を選定いただきましたので、こちらも6月定例会に学校設置条例改正の議案提出を予定しております。

最後に、前回の委員会から本日までの間に発行しました統合準備会だよりを付けさせていただきましたので、後ほど御高覧ください。

以上、小中学校適正規模化・適正配置推進事業の進捗状況について御説明申し上げます。よろしく御審議賜りますよう、お願い申し上げます。

◎中山裕司委員長

ありがとうございます。

ただいまの説明に対しまして、御発言ございませんか。

品川委員。

○品川幸久委員

早修小学校のところを少しお聞かせ願いたいと思います。

早修小学校に一応方向性が決まったというところで、説明の中でも普通教室が11あるというところで、このところでふやさなあかんというところで、空き教室という、空き教室はないと言われるので、多目的教室とかそういうふうな利用をしてするのか、新たに増築をされるのかというところはどうなっていますか。

◎中山裕司委員長

学校統合推進室長。

●丸山学校統合推進室長

現在の校舎の中で改修をして、対応していきたいと考えております。

以上です。

◎中山裕司委員長

品川委員。

○品川幸久委員

それと、佐八小学校のほうが少し遠くなってという、通学の面で危険性というところがよく問われるところなので、その点の方向性だけ教えていただきたいと思います。

◎中山裕司委員長

学校統合推進室長。

●丸山学校統合推進室長

佐八小学校のほうは、直線距離で2キロを超えてくるとは思いますので、ほぼスクールバスになるかと考えております。

○品川幸久委員

結構です。

◎中山裕司委員長

他にございませんか。

浜口委員。

○浜口和久委員

すみません。ちょっとここで関連みたいな形になるんですが、この3校統一というふうな形の中で、上野小学校だけ何かぼつんと浮いてしまうというふうな形になります。そこから辺で、上野小学校のことは何か議題には挙がらなかったんでしょうか。

◎中山裕司委員長

学校統合推進室長。

●丸山学校統合推進室長

当初の基本計画におきましては、上野小学校と佐八小学校、早修小学校と中島小学校というように、2校ずつの統合というのでも検討されてまいりました。ただ、上野小学校につきましては、佐八小学校と統合いたしましても各学年1クラスということですので、私どもが目指しております適正規模化に満たないということから、改正をされたところでございます。

ただ、上野小学校を今回の3校統合と一緒にというふうに考えますと、矢持町、横輪町の児童というのが上野小にはございます。そちらからの通学というのは、非常に児童に負担になるだろうということと、今現在、上野小学校には複式学級がございしますが、今後解消される見込みであり、児童数についてもふえる見込みで今見ております。ですので、今後、複式学級が続くようなことがあれば、また統合について検討していきたいと考えております。

以上です。

○浜口和久委員

結構です。ありがとうございました。

◎中山裕司委員長

他に発言もないようでございますので、よろしゅうございますか。

はい。この程度で終わります。

続いて、自由討議をいたしますが、御発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、自由討議を終わります。

以上で、「小中学校適正規模化・適正配置推進事業（進捗状況）について」を終わります。

「伊勢市立小中学校の規模・配置の適正化に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御異議なしと認めます。

本件については、引き続き調査を継続いたします。

## 【子ども子育て支援に関する事項】

### 〔現在の取り組み状況について〕

#### ◎中山裕司委員長

次に「子ども子育て支援に関する事項」についてを御審査願います。

「現在の取り組み状況について」、当局から説明を願います。

こども課長。

#### ●藤原こども課長

それでは、子ども・子育て支援に関する現在の取り組み状況について御説明いたします。  
資料3-1を御高覧ください。

まず、「伊勢市子ども・子育て支援事業計画について」でございます。

安心して子供を産み、子育ての喜びを実感することができる社会を目指し、「家庭と地域と社会が手をつないで子どもを育むまちづくり」を基本理念に、子ども・子育て支援事業計画を策定しております。計画の概要版を資料3-2として添付しております。

概要版の3ページの施策の体系のとおり、51の個別施策を掲げて取り組んでおります。この中で、重点施策あるいは確保策の設定が義務づけられている取り組みの平成29年度における実績を資料3-3に添付しておりますので、御高覧ください。

№. 1、妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査の充実については、目標は100%としておりますが、分母を母子健康手帳の交付者としているため、流産や異常分娩等により妊婦健診の対象外となる場合があり、現実としては100%になる可能性は低いのですが、98.9%となっています。

№. 12、13、一時保育事業の充実については、目標の5カ所に対し、保育所きらら館、小俣子育て支援センター、しごうこども園、修道こども園の4カ所で実施しております。特に保育所きらら館の利用者が多い状況で、平成29年度は延べ1,437人の利用がございました。

№. 15、病児・病後児保育の充実については、小児科医に託して実施しており、平成29年度においては延べ1,009人の利用がございました。

№. 16、ファミリー・サポート・センターの充実については、子供を預けたい依頼会員と子供を預かっただけの提供会員による会員組織で、NPO法人に委託して実施しております。活動件数としては増加傾向にありますが、提供会員の確保が課題となっており、一層の制度周知を行い、新たな会員の確保に努めてまいります。

№. 24、子育て支援センターの充実については、目標7カ所に対し、現状は5カ所でございます。平成29年度の子育て支援センターの総利用者数は、延べ4万4,540人となっております。地域の身近な場所で交流や育児相談ができる拠点としてさらなる充実を図るため、新規開設、事業の充実を努めてまいります。

№. 28、放課後児童クラブの充実については、箇所数としては目標に達していますが、ニーズの高い地域において増設等、定員拡充に努めております。

No. 46、養育支援訪問事業については、養育支援が必要な家庭や児童への適切な支援が行われるよう、関係機関と連携しながら保健師等による家庭訪問、子育て経験者等による育児・家事支援を行っております。

資料3-1にお戻りください。

事業計画の進捗については、学識経験者や保護者、福祉・教育・医療・労働関係者等で構成する伊勢市子ども・子育て会議において、進行管理をしております。この計画は5年を1期として策定するものであり、平成32年度以降の次期計画の策定に向け、今年度はニーズ調査を実施してまいります。

また、この事業計画策定以降、子供の貧困対策が社会的に課題となっております。子供の将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子供の貧困対策に取り組む必要がございます。

資料3-4が伊勢市における現在の取り組みでございます。

教育の支援として、就学援助制度や生活困窮家庭への学習支援を行っております。生活の支援としましては、ひとり親家庭の保育所の優先利用、児童養護施設退所児童等への給付金支給、養育支援が必要な家庭の育児・家事支援を行う養育支援訪問事業などを行っております。保護者に対する就労の支援としましては、就労支援員による生活困窮者自立相談支援、ひとり親家庭に対する高等職業訓練促進給付金の支給などを行っております。経済的な支援としましては、放課後児童クラブやファミリー・サポート・センターなどの利用料の軽減、ひとり親家庭等医療費助成、生活保護制度における教育扶助などを行っております。

これら子供の貧困対策につきましては、先ほど御説明いたしました次期子ども・子育て支援事業計画にも盛り込んでいく必要があると考えております。

次に、資料3-1に戻りまして、「2. 伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画について」御説明いたします。

就学前の子供に対する望ましい教育・保育環境の整備を図ることを目的に、平成27年度から10年間における公立保育所・幼稚園の整備計画として策定したものです。計画書を資料3-5として添付しております。

現在の進捗は(2)のとおりでございます。

大世古保育所については、昨年度において移管先の民間事業者を選定し、平成31年4月1日に移管いたします。御菌第一保育園における子育て支援センターの設置については、現在の園舎では実施が困難であることから、事業の実施場所を御菌総合支所内として準備を進めております。しごうこども園においては、幼稚園機能部分での3歳からの受け入れを平成28年度から開始いたしました。城田幼稚園につきましては、平成28年度末で休園としております。今後も保育所・幼稚園・小学校の連携を含む実践研究等の中核的な役割、特別支援教育の中心的役割を果たし、多様な保育ニーズで対応できるよう整備を進めてまいります。

以上、子ども・子育て支援に関する現在の取り組み状況について御説明いたしました。よろしく願いいたします。

◎中山裕司委員長

はい、どうもありがとうございます。

ただいまの説明に対しまして、御発言ございませんか。

楠木委員。

○楠木宏彦委員

今の御報告につきまして、2点ほどお聞きをしたいと思うんですけれども、まず一つ目はファミリー・サポート・センター事業の充実という問題なんですけど、これ今、提供会員、それから依頼会員の目標を出されておりますけれども、現在、この5月末日の状況をお聞きしましたら、依頼会員、提供会員合わせて340人ほど、これやや下回っているんですね。

またこれ、市として会員数の目標値を上げていただいているんですけれども、これだけの数がたとえあったとしても、実際に常時動ける提供会員さんが非常に少ないと。いわば、隙間を預かるような仕事ですものですから、この方をお願いしたいんですけども、これは無理ですよみたいなことがありまして、実際には1人の利用会員さんに対して、提供会員さんを何人か複数名当てて、その方をお願いをするというような形になっているようなんですけれども、そういう意味で預かっていただける、つまり提供会員さんをもっともっとふやしていく必要があるんだと思うんですね。

先ほどの報告でも会員の確保に努めるというふうなことがありましたけれども、実際にいつでも動けるような、そういう会員さんをふやしていくということが非常に求められていると思うんですけれども、そういう面での何か対策というのは考えていただいていますでしょうか。

◎中山裕司委員長

こども課長。

●藤原こども課長

提供会員の確保としては、課題として捉えております。やはり実際に動ける、預かっていただける会員ということになりますけど、まずは提供会員をふやしていくということで、養成講座を年2回開催しておりますが、その周知に取り組んでおります。しかしながら、会員様も御自身の空いている時間において子供さんを預かっていただくということで、年齢的には少し高い年齢層の会員が多いんですけれども、そういった高齢化ということもあり、なかなか会員数の拡大に至っていないというような状況です。今後も引き続きいろんな手段で周知を行いまして、会員として講座を受けていただき、登録していただけるように努めてまいりたいと考えております。

◎中山裕司委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

今、経済状況、大分芳しくないという面で、パートをしておられるお母さん方も、ダブル

ルワークやとかトリプルワークやとか、こういったようなことで、子育て環境がますます厳しくなっているものですから、緊急にお願いをしたいというようなことが随分あると思うんです。

そういう意味でさらに今の取り組みを強化してほしいと思うんですけれども、もう一つ、ファミサポの方にちょっとお話を伺いましたら、伊勢市で一つのセンターでやっていくというのは、もうこれから難しいのじゃないかと。そこをさらに大きくしていくというよりも、それぞれの地域でこういう取り組みを強めていく必要があるんじゃないかというようなことをおっしゃっていたんです。まち協なんかでも一部こういった取り組みをさせていただいているところがあるというお話を聞いたんですけれども、そういった方向へかじを切るというようなことも必要かと思うんですけれども、こういう面については何かお考えはございますでしょうか。

◎中山裕司委員長

こども課長。

●藤原こども課長

委員仰せのとおり、現状としましては、市内で1カ所のセンターで運用を実施しております。センターの役割としましては、登録いただいております会員様からの依頼に対して提供会員を斡旋するという形で行っております。おっしゃられましたように、各地域、小規模な単位でということも一つの方策かと考えております。依頼したい方と提供してもいい方をどうマッチングしていくかというところ、それをコーディネートできる人材も確保しながら、そういった小規模化についても検討はしていく必要があるかというふうに考えております。

◎中山裕司委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

これ、まちづくりの方向でもやはり取り組まなければいけない問題やと思いますので、そういう方向でも、そういう担当の部署でも考えていただければなと思います。

次、二つ目なんですけど、子育て支援センターの充実の問題なんですけれども、今5カ所、これがあるということなんですけれども、一つは常磐のきらら館、それから小俣の小俣子育て支援センター、それから吹上の明倫保育所にあるすくすく、それから二見町の二見浦保育園の中にあるぷちとまと、それから一宇田のしごうこども園の中のなないろ、この五つがあると思うんですけれども、さらにこれ7カ所にしていくという目標を平成31年度までに上げていただいているんですけれども、あと2カ所はどういったところを考えていただいているのでしょうか。

◎中山裕司委員長

こども課長。

●藤原こども課長

現在の事業計画におきまして、目標7カ所ということで、あとの2カ所の整備でございますが、一つ目は先ほど申しあげました御菌総合支所内での実施を現在、準備を進めております。もう1カ所に関しましては、駅前再開発ビルの中での実施をしたいというふうに、現在、検討を進めております。

以上でございます。

◎中山裕司委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

ありがとうございます。

私もかねてから申しあげていましたけれども、23号線の南側には随分厚くあるんですけども、北側のほうが非常に薄いと。今回、御菌にそういったものをつくっていただくというのは、非常にありがたいことだと思うんですけども、北浜の地域がちょっと手薄になっているという面もありますので、そういった面でも今後計画を立てていただければと思うんですけども、その点についてはどのように考えていただいていますか。

◎中山裕司委員長

こども課長。

●藤原こども課長

子育て支援センターにつきましては、対象となる子育て世帯が利用しやすい範囲に設置するのが望ましいというふうに考えております。現在、北浜、豊浜地域ということでございますが、現状としては小俣子育て支援センターを御利用いただいているものと考えております。今後も、次期子ども・子育て支援事業計画を策定していく上で、箇所数、さらにその地域のバランスも含めて、今後の計画をしていきたいと考えております。

○楠木宏彦委員

よろしくお願いたします。

◎中山裕司委員長

ほかに御発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、説明に対しての質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。御発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、自由討議を終わります。

以上で、「現在の取り組み状況について」を終わります。

「子ども子育て支援に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御異議なしと認めます。

本件については、引き続き調査を継続いたしてまいります。

以上で、御審査いただきます案件は終わりましたので、これをもちまして教育民生委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時34分

上記署名する。

平成30年 6月12日

委員長

委員

委員